

広島県歯科医師連盟通信 VOL.10

日本歯科医師連盟 第109回臨時評議員会開催する — 次期参議院選挙で民主党比例代表候補を支援する方針を決定 —

2月19日（金）午後1時より、日本歯科医師会館において、日本歯科医師連盟第109回臨時評議員会が開催された。

当日は、評議員77名が出席の下、堤会長から「政権与党となった民主党との折衝により診療報酬点数改正やレセプトオンライン義務化の撤廃などで成果が上がった点を説明され、本日議案として上程されている第22回参議院比例代表選挙についてのご意見を賜りたい」との要旨の挨拶があった。続いて大久保満男日歯会長による来賓挨拶、石井みどり参議院議員による国会報告、高木幹正理事長による会務報告に続いて議案に入った。

議案として「第22回参議院比例代表選挙について」の議案が上程され、「第22回参議院議員通常選挙（全国比例区）において、政権与党である民主党から公認を得て出馬する本連盟会員候補者を本連盟公職選挙候補者推薦規則第5条第2項による特別な事情を持つ候補者として支援することを提案する」と提案理由が述べられた。その後活発な議論が交わされた。

議論が出尽くしたところで議長が採決を求め、その結果、議長が「賛成の挙手多数により本議案は可決した」と宣言し、民主党が公認する歯科医師（日歯連盟会員）の比例候補者を日歯連盟として支援する事が機関決定された。

自由民主党広島県支部連合会 — 党員投票結果について —

自民党広島県連は2月20日、次期参議院議員選挙の広島選挙区公認候補者の選考について、党員投票の開票を行い、宮沢洋一氏が最多の票を獲得し、選考委員会で決定した。